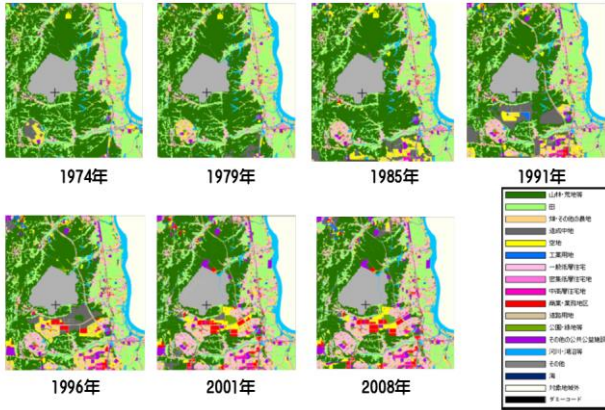


分類 番号	A11	取組 名称	精華町の里山整備に向けた関連基盤情報の収集と解析ならびに情報共有
研究代表者所属・職名：		生命環境科学研究科・教授	氏名： 田中 和博
研究担当者：			
京都府立大学（長澤淳一、長島啓子、武田征士）			
外部分担者・協力者（精華町事業部産業振興課 塚田寛氏、岩崎智代氏）			
主な連携機関（所在市町村、機関（部署）名）			
京都府精華町、NPO 法人「精華町ふるさと案内人の会」			
【研究活動の要約】			
平成 31 年度から国の森林環境譲与税の交付が始まるが、その事前の準備として、精華町内の里山の保全に関連する基盤情報を収集して解析するとともに、それらの情報や解析結果を関係者間で共有するシステムを構築し、資料として役立てることを目的として、下記の活動を行った。			
<ul style="list-style-type: none"> ① 精華町の里山整備に向けた関連基盤情報の収集と解析 ② 関連する活動団体からのヒアリングによる課題抽出 ③ 収集・解析した里山情報を、Stroly マップを用いて共有化 ④ 精華町の里山・竹林整備に向けた方向性の提言 			
【研究活動の成果】			
<ul style="list-style-type: none"> ① 精華町の里山整備に向けた関連基盤情報の収集と解析 <ul style="list-style-type: none"> ・国交省の『地理院地図』を利用して 1974 年から 2008 年までの 34 年間の土地利用の変遷を調べた。 ・環境省の『現存植生図』を基に、1983 年から 2001 年までの 18 年間の植生変遷を調べ、竹林の拡大について解析し、1990 年代後半以降に竹林が急速に拡大していることを明らかにした。 ② 関連する活動団体からのヒアリングによる課題抽出 <ul style="list-style-type: none"> ・ヒアリングした団体等は、せいか里山の会、嶽山プロジェクト、北稻八間区 精華町危機管理室、武内神社、ふるさと案内人の会 ③ 収集・解析した里山情報を、Stroly マップを用いて共有化 <ul style="list-style-type: none"> ・NPO 法人ふるさと案内人の会の協力により、7 種類の Stroly マップを作成・公表した。 ④ 精華町の里山・竹林整備に向けた方向性の提言（主な内容） <ul style="list-style-type: none"> ◆ 森林ゾーニングとその対応策 ◆ 環境保全活動の拠点作り ◆ 木材・竹材の有効利用 			
【研究成果の還元】			
H30.3.14 14 時～ 精華町役場 参加者 27 名			
テーマ：行政データでみる精華町の森の姿 ～ 里山整備に向けた関連基盤情報の収集と解析 ～			
【お問い合わせ先】 生命環境科学研究科 森林計画学研究室 准教授 長島 啓子			
Tel: 075-703-5635 E-mail: nagakei@kpu.ac.jp			

参考 (イメージ図、活動写真等)

精華町の里山整備に向けた関連基盤情報の収集と解析ならびに情報共有

1974年～2008年までの土地利用の変化



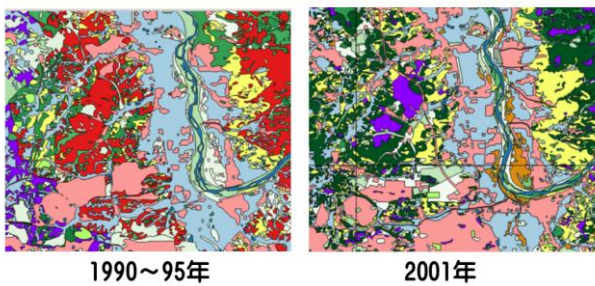
エコリス地図タイルの陰影起伏図

第 5 回植生図
1990～95年

第 6～7 回植生図
2001年

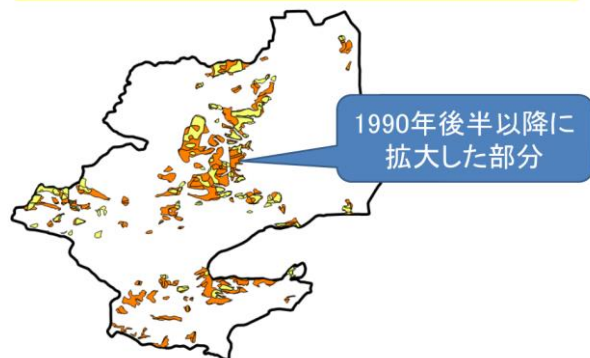


GIS (地理情報システム) による解析

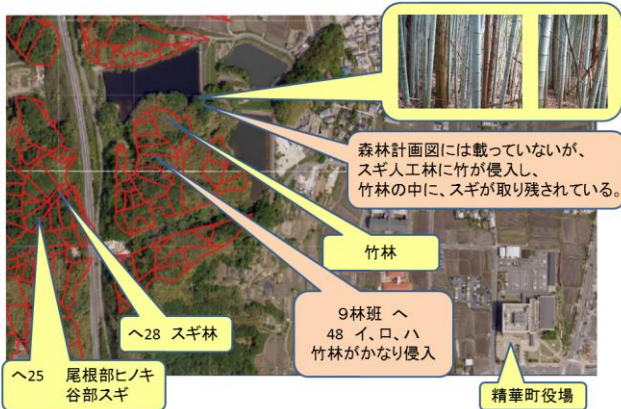


- ◆ 1990年代後半 == マツ枯れ ==
- ◆ 2000年代 → モチツツジ - アカマツ群集 (紫色)
- ◆ → 竹林 (黄色) の拡大

2001年における竹林の分布と拡大



9林班 胡麻谷池 南東のスギ人工林



精華町の里山保全について考えよう！！

精華町森林ゾーニング(案)

